

人吉市立地適正化計画の策定に向けて

都市計画関係ですが、災害に強いまち、魅力あるまちを形成していくためには、公共施設だけでなく、住宅や医療、福祉、商工業、公共交通など、さまざまな都市機能の誘導、そしてまち全体を俯瞰しながら将来都市像を検討する必要があります。このよう

中川原公園の復旧

公園関係ですが、豪雨災害で被災した中川原公園の復旧に関しては、河川増水時の通水断面を確保するため、被災前の公園地盤高から約2メートル掘り下げる形で復旧するなど、現在、国土交通省と熊本県と協議を進めています。市の中心部に位置し市民の皆さまから愛されてきた公園ですので、将来にわたる公園の在り方など総合的に検討し、

10 組織別 教育部関連

子どもたちの学力向上に向けて

時代を生き抜く力の育成など、学校教育への期待はますます大きくなっています。そのような中、「人吉市総合教育会議」を2月25日に開催しました。会議では、本市の学校教育の現状と課題を共有したほか、今後、学力向上に向けた取り組みと学校現場でのICT（情報通信技術）機器の活用について重点的に行う施策を協議しました。子どもたちの学力向上については、学校内での連携や保護者との連携、校種間連携を重要なテーマとして位置付け、幼児期から小・中学校までを見通した教育課題を検討するなど、今後も力強い展開が期待されます。

情報化社会を主体的に生き抜くためのICT教育

国のGIGAスクール構想（全国の児童・生徒1人に1台のパソコンと高速ネットワークを整備する文部科学省

早期の復旧を目指します。安心して暮らせる

市営住宅の管理

市営住宅関係ですが、令和4年度は、原城団地1、2号棟給水設備改修工事を実施します。そのほか、市営住宅にお住まいの人に安心して暮らしていただけるよう、経年劣化した住戸の修繕などを行います。

人吉市公営住宅等長寿命化2期計画については、災害公営住宅と建設型応急住宅の整備戸数を盛り込んだ、令和4年度を始まりとする新たな10カ年計画として策定し、今後とも復興施策などと併せて市営住宅などの適切な管理運営に努めます。

全ての被災者の住まいの確保を

災害公営住宅の整備に関しては、相良町に建設する買取型災害公営住宅整備事業に対し、複数の事業者から参加表明をいただいている、今後は同公営住宅事業者選定委員会で提案内容を精査し、3月下旬には事業者を決定します。供与期間終了後の建設型応急住宅は、市内13団地のうち7団地を引き続き利活用する

予定です。現在、利活用整備計画の作成を進めていて、民有地に建設した住宅も地権者との協議に入る準備をしています。

将来の見通しや暮らしの安定という点では、住まいの確保が絶対条件ですので、災害公営住宅の入居開始予定に設定している令和6年1月までに、全ての被災者の住まいの確保を完了させる覚悟で進めます。

9 組織別 水道局関連

将来を見据えた堅実な上水道事業経営

水道料金の減収や水道管更新事業などの建設改良費の増大で、上水道事業は依然として厳しい経営状況が続いています。今後も事業の効率化や優先度を見極めた事業展開を図ることが重要であり、引き続き新人吉市水道事業ビジョンとアセットマネジメント（給水サービスを継続するため、施設管理に必要な費用と財源を算定し、長期的な視点で経営すること）を指針とし、

将来を見据えた堅実な上水道事業の経営に努めます。下水道施設の早期復旧を

下水道関係ですが、豪雨災害で被災した人吉浄水苑や汚水中継ポンプ場、雨水ポンプ場などは令和3年度中の復旧完了を目指していましたが、コロナ禍の影響などもあり遅れています。今後も関係者と事業を調整し早期の復旧に努めます。



令和4年度に原城団地の給水設備を改修



災害復旧を進める下水道施設

向かって大きく羽ばたくことを期待するとともに、さらなる学びの機会を得るための持続可能な制度となるよう事業に取り組みます。

公共施設の復旧について

豪雨災害の影響に伴う人吉スポーツパレス大アリーナの床面改修工事と空調熱源改修工事は、令和4年4月の供用開始に向け着実に工事を進めています。

コミュニティセンターの災害復旧関係ですが、西瀬コミセンは隣接する市有地へ移転新築することとし、令和4年度から既存施設の解体工事と移転予定地の土地造成工事を行う予定です。現時点では令

和6年度中の完成を見込んでいます。東西コミセンも令和4年度からの着工に向け、国、県、関係機関と協議を進めています。

文化財の復旧工事進む

文化財保護事業ですが、令和3度は被災した史跡人吉城跡や史跡大村横穴群の災害復旧事業を最優先に実施し、令和4年度も同様に、復旧関連工事を集中して進めます。主な事業としては、史跡人吉城跡の三の丸北側のり面復旧や北外曲輪陥没復旧、角櫓や多門櫓など復元建造物復旧、史跡大村横穴群のり面崩落箇所復旧の各工事などを実施予定です。

11 おわりに

本市は、令和4年2月11日に市制施行80周年を迎え、新市庁舎の落成式と併せて3月27日に記念式典を開催します。

ここを仕事場とする我々は、新たな市政の中心であり、総合防災拠点である新市庁舎で、本市の復旧、復興が進み、さらには安全・安心が日々向上するような新生人吉を目指して全力を注いでまいります。私自身も、大いなる覚悟と志を携えて今後の市政をけん引してまいります。

施政方針の全文は市ホームページからご覧いただけます。



パソコンを使った小学校の授業



改修工事を終えたスポーツパレス大アリーナ